

2022年4月20日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社  
(東証プライム / 証券コード：3762)

## テクマトリックス、AI型教材「Qubena (キュビナ)」を 開発・提供する株式会社 COMPASS と スタディ・ログ 利活用に関する共同プロジェクトを開始

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：由利 孝）が提供する教育機関向けクラウドサービス「ツムギノ」は、AI型教材「Qubena (キュビナ)」を開発・提供する株式会社 COMPASS（本社：東京都文京区、代表取締役：小川正幹、以下 COMPASS）とスタディ・ログ利活用に関する共同プロジェクトを実施することをお知らせします。



### ■ 共同プロジェクト実施の背景

GIGA スクール構想による児童生徒 1 人 1 台端末環境が整備され、配布端末を使ったソフトウェアの活用や教育データの利活用が教育 DX 推進の次なるテーマとなっています。学校現場において、学習支援や校務支援などの目的に応じたさまざまなデジタルサービスの導入・活用が進められる中で、当該サービス毎に蓄積される教育データの連携方法とユースケース創出が新たな課題となっています。

テクマトリックスと COMPASS では、両社が有力なユースケースの一つとして考えている“評価に関連する一連のプロセスにおけるスタディ・ログおよびコンテンツデータの活用”について、サービスの枠を超えて検討・検証するべく、このたびの共同プロジェクトの実施にいたしました。

現在、子どもたち一人ひとりに対する「評価」は、評価者にその基準が委ねられている部分が多いにも関わらずよりどころとなる情報が少ない点、また子どもたち自身が学期末まで結果を把握できない点など、いくつかの大きな課題を抱えています。これらに対して、デジタル教材のスタディ・ログやコンテンツデータを活用することによって、本来的な評価の役割である子どもたちのより主体的な学びを引き出すことを、本共同プロジェクトでは目指していきます。

今回の共同プロジェクトにおいては、ツムギノに搭載されている評価プロセスに関わる機能に対して、Qubena のスタディ・ログやコンテンツデータを連携することで、客観データに基づく評価基準の設定や子どもたち自身による適時の目標設定・振り返りなど、主体的で納得度の高い評価プロセス実現のためのデータ利活用モデルの構築を目指します。また、自治体・学校の協力の下、エビデンスに基づくユースケースの創出に取り組んでまいります。

## ■ 想定されるユースケース例：

- ① 学校現場で導入したデジタル教材のコンテンツデータを、教員が評価基準の設定に活用。子どもたちはその評価基準に対する目標設定・学習計画の策定を主体的に行う
- ② 学校現場で導入したデジタル教材のスタディ・ログを、子どもたち自身による学習活動の振り返り、教員による評価に活用する

今回の共同プロジェクトでは、子どもたちを取り巻く教育データが、子どもたち自身にとってより便利に、効果的かつ安全に利活用されるよう、両社の知見・技術を束ねるとともに、専門家の皆さまとも連携しながら、法令に則ったセキュアなデータ利活用のあり方を検討してまいります。

## ■ テクマトリックス株式会社について

所在地： 東京都港区三田 3-11-24 国際興業三田第 2 ビル

代表取締役： 由利 孝

URL：<https://www.techmatrix.co.jp>

テクマトリックスは、クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア技術を駆使し顧客の抱える問題領域におけるベストプラクティスを実装したアプリケーションの提供を行なう「アプリケーション・サービス事業」を行っています。

## ■ ツムギノについて

「ツムギノ」は、糸をつくる、言葉をつなげる、という意味を持つ「紡ぐ」と、革新を意味する「Innovation」を掛け合わせて作られました。“学びを 未来へ 紡ぐ” × “Innovation”。「新しい学びを未来に向けてカタチ作りながら、新たなものを創造し、教育業界に革新と新たな価値を生み出したい」との思いを込めています。

ツムギノ詳細はこちらから ⇒ <https://tsumugino.jp/>

## ■ 株式会社 COMPASS について

所在地： 東京都文京区小石川 2 丁目 3 番 2 3 春日尚学ビル 3 階

代表取締役： 小川 正幹

URL：<https://qubena.com/>

AI が子どもたち一人ひとりの習熟度に合わせて最適な問題を出題する AI 型教材「Qubena」を開発、2021 年度からは小学校・中学校の 5 教科対応版をリリース、全国の小中学校約 1,800 校、約 50 万人が利用しており、アダプティブラーニングによって知識・技能の習得を支援します。2018 年度から 20 年度まで 3 年連続で経済産業省「未来の教室」実証事業に採択。また「日本 e-learning 大賞 経済産業大臣賞」「グッドデザイン賞」を受賞しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

テクマトリックス株式会社 新規事業開発室

E-mail：[tsumugino-sales@techmatrix.co.jp](mailto:tsumugino-sales@techmatrix.co.jp)

\*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。